

やすらぎ通信

春季彼岸号

お釈迦さまの死

お釈迦さまは約二千五百年前、二月十五日に八十才で亡くなられたと伝えられています。

全国のお寺では、お涅槃会といって、お釈迦様の教えに感謝し、その恩徳を偲びます。亡くなられた姿を絵画で表したのを涅槃図といいます。修行道場では二月一日から十四日まで本堂の東側に涅槃図をお掛けし、毎日夕刻のお経の時に、「仏遺教経」を誦読します。そして、次の日十五日涅槃会の三仏忌の読経を申し上げます。

考えてみますと、釈迦のように自然や動植物にも愛され、死を惜しまれながら亡くなったお姿を掛け軸の絵画として敬う行事は面白いことに仏教だけの様です。

「仏遺教経」には最後の最後まで法を説き、生き絶え絶えに「私の死を惜しむことはない。何時か誰でもその時は来る。頼りとするのは私の説いた教えは真理であるから頼りとしなさい。そして己自身を頼りとして生きなさい。他を頼りとしてはならない。」と説かれています。これが有名な自灯明(じとうみょう) 法灯明(ほうとうみょう)

のおしえとなつて今に伝えられるようになりました。

他の宗教の中には人間ではない神の前にひれ伏し、従います。仏教は『自分自身を頼りとせよ』と人間の尊厳性を大事にしています。そして釈迦は自分自身を拝めとは言っていない。自分が苦勞して発見した教え『法は真理であるから頼りとしなさい』と仰っています。

お寺に涅槃図が寄進されました。それは大きなもので縦二・四メートル、巾一メートルという立派なものです。寄附されたのは以前行われていた写仏会会員の竹中玖美子さんです。一年ほど前、

檀家さん周りの折、久し振りにお会いし、世間話の最中「お寺には小さな涅槃図はあるが大きなものがない」と私が話したのを耳にし、発心し一年かけて描かれたものだそうです。私はその話から精進され善根功徳を積まれたことにお大変驚くとともに感謝状を贈らせていただきました。

是非三明寺の会館書院の床の間に掛けさせて頂いておりますのでどうぞご覧ください。

三月末ごろまで展示させていただきます。

三明寺住職 大嶽正泰 合掌



竹内玖美子筆画 釈尊涅槃図



【檀信徒行事】

三月

○道了講

○近藤家・勝又家ご法事

○竹下家・中西家ご法事

○芹沢家ご法事

○地藏講

○春彼岸檀信徒供養会

○春彼岸ペット供養会

○大浦家ご法事

○竹内家ご法事

四月

○青木家ご法事

○道了講

○地藏講

20 6 4 28 21 20 16 14 12 7 2
日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日

五月

○小針家・大島家・高嶋家ご法事

○道了講

○日吉家ご法事

○畠山家・大関家ご法事

○地藏講

○大石家ご法事

【三明寺やすらぎ大学】

○土曜写経会

○日曜坐禅と法話の会

○月例坐禅会 第一月曜日

○月例写経会 第三月曜日

○御詠歌(寺族) 第一・三火曜日

○やすらぎ大学 第三火曜日

○御詠歌第1・3火曜日

11 13 10 10 19 6 6 29 18 16 9 4 4
時 時 時 時 時 時 時 日 日 日 日 日 日

【住職・寺族行持】

○梅花大学 3月9日 4月23日 6月3日

○宗務所婦人会総会 4月14日

○宗務所寺族会総会 5月11日

【お知らせ】

□住職ラジオ法話

SBSラジオ

コースTFM 76.7

第四土曜日 12時22分
月曜〜金曜 7時30分

【後記】

数年前、インド仏跡の旅に参加しました。涅槃仏の前で御詠歌の独詠をさせてもらったことは、人生の宝です。
アマビエお札の掲載された新聞記事の反応に驚きました。お寺ができることで不安な気持ちを和らげたい思いで作りましたが、多くの方が喜んでお持ちになる姿を拝見すると、逆に活力をいただいた気分になりました。

年会費・墓地管理費等の口座引き落とし

四月は墓地管理費等の会費をご指定の口座より引き落としさせていただきます。再請求の無いように必ず残高の確認をお願い致します。
経理担当者

令和三年三月一日 第七十八号
発行所 曹洞宗 愛鷹山 三明禅寺
編集所 大嶽正泰
住所 沼津市大岡三明寺四〇五一
電話 0555・9229・2323
FAX 0555・9229・2324
URL http://www.sannyouji.com
メール info@sannyouji.com



1/5



1/3

お正月静岡新聞記事

1月初め静岡新聞に掲載され、アマビエのお札を求め、多くの皆さんがお越しになりました

除夜の鐘 正月初祈禱 12/31



鎮火祭や飲食は自粛しましたが除夜の鐘と初祈禱は実施しました



本堂前にお灯明が点灯されました

永平寺拝登 12/14



永平寺へのみちすがら、彦根城に立ち寄り



修行中の三男雄泰です 12月成道の接心が終わり、会うことができました
コロナ禍ですが妹夫妻の運転のおかげで 他との距離を保ちご本山のお参りができました



姪の成人の晴れ姿 成人式の中止、学校、就職…
若い人にとって人生の大切な機会を失われましたが、
たくましさも感じられます



立春と共にふきのとうが顔を出し
お寺の裏庭に河津桜が咲きました

節分祭 大般若祈禱 1/26



護持会役員さん御詠歌の講員さん等最小限の人数で儀式が執り行われました



入館時の検温と手指消毒は日常となりました



住職より直々に理趣経を両肩に当ててもらいます



大般若経を転読し各家の家内安全等を祈願しました



涅槃図を奉納された竹中様に感謝状



天井絵飾り金具の寄進された久保様と宮坂様に感謝状



近隣の僧侶をお招きできませんでしたが弟子だけで、無事円成しました



特別祈禱の皆様、檀家の皆様の祈願札は郵送しました
来年はコロナが収束し、豆まきのできる状況に戻ることを願うばかりです